





# 「道の駅」新たに16箇所登録

○「道の駅」は平成5年に創設された制度

○平成25年10月までに、1,014駅が登録済み

○今回、市町村からの登録申請に基づき、新たに16駅を登録

【平成26年4月4日時点で全国で1,030駅】

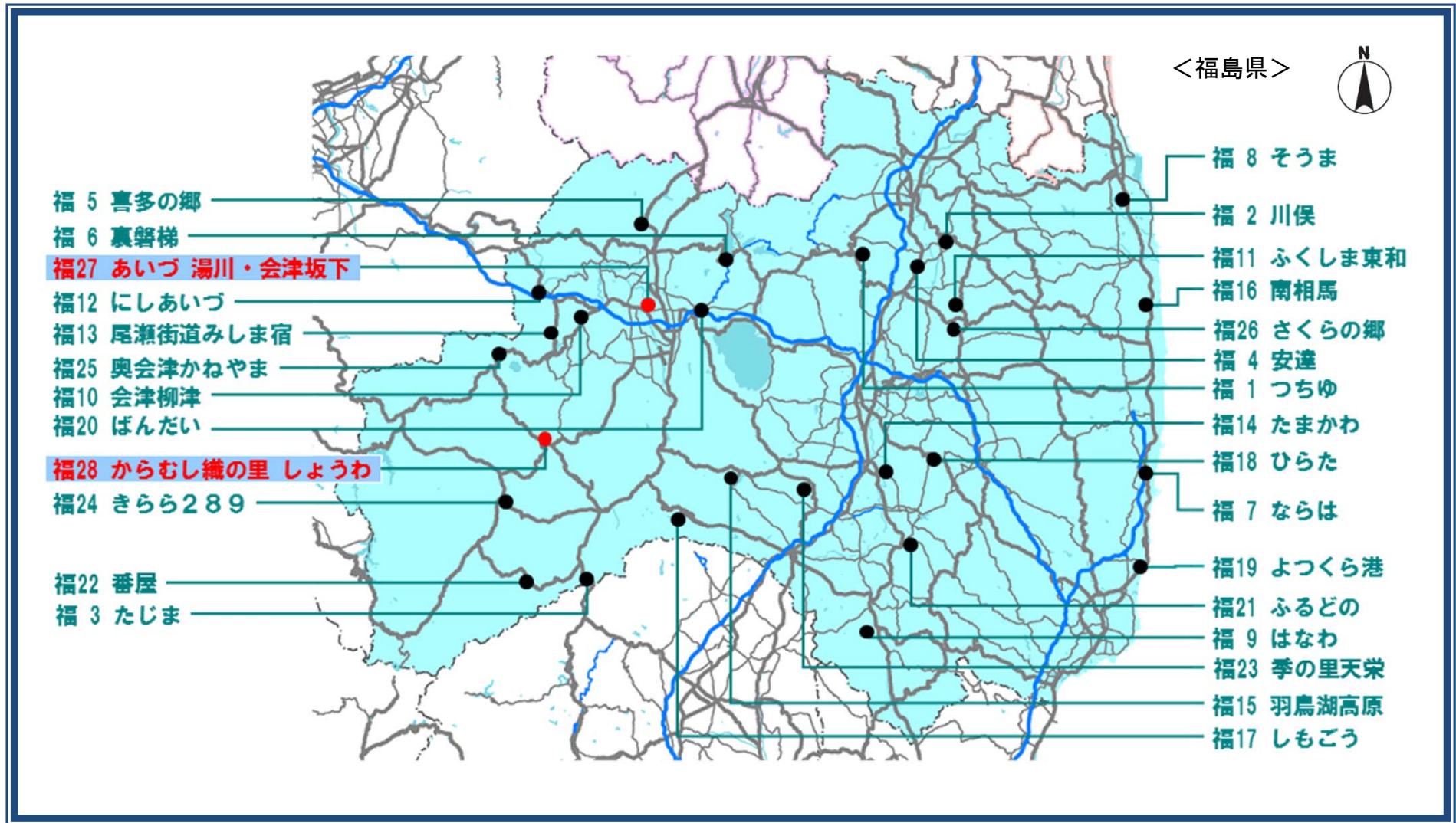
## 「道の駅」登録箇所一覧(H26. 4登録分)

所管整備局	都道府県	申請者	駅名	設置箇所	路線名	道路種別	整備手法	オープン予定
東北	福島県	湯川村及び会津坂下町	あいつ 湯川・会津坂下	福島県河沼郡湯川村大字佐野目字五丁ノ目78番地1	一般国道49号	直轄	一体	H26.10
		昭和村	からむし織の里しょうわ	福島県大沼郡昭和村大字佐倉字上ノ原1番地	一般国道400号	補助	単独	H26.8
関東	茨城県	日立市	日立おさかなセンター	茨城県日立市みなと町5779番24	一般国道245号	補助	単独	H26.9
	栃木県	市貝町	サシバの里いちかい	栃木県芳賀郡市貝町大字市塙1270番地	主要地方道 宇都宮・茂木線	補助	一体	H26.4
	群馬県	高崎市	くらぶち小栗の里	群馬県高崎市倉渕町三ノ倉296番地1	一般国道406号	補助	単独	H26.4
	山梨県	富士川町	ふじかわ 富士川	山梨県南巨摩郡富士川町青柳町1655番地3	一般国道52号 町道青柳横通り線	直轄	一体	H26.7
		小菅村	こすげ	山梨県北都留郡小菅村3445	村道大久保4号	補助	単独	H26.11
近畿	福井県	若狭町	みかた 三方五湖	福井県三方上中郡若狭町鳥浜第122号31番1	一般国道162号	補助	一体	H27.3
	滋賀県	大津市	いもこ 妹子の郷	滋賀県大津市和邇中528	一般国道161号 湖西道路	直轄	一体	H27.5
	京都府	京丹波町	きょうたんば あじむ 京丹波 味夢の里	京都府船井郡京丹波町曾根深シノ65番地1	一般国道478号 京都縦貫自動車道	直轄	一体	H27.4
	和歌山県	古座川町	むしくいいわ 虫喰岩	和歌山県東牟婁郡古座川町池野山705-1	一般県道 田原古座線	補助	単独	H26.4
中国	山口県	上関町	かみのせきかいきょう 上関海峡	山口県熊毛郡上関町大字室津904番地15	主要地方道 光上関線	補助	単独	H26.11
四国	愛媛県	宇和島市	つしま 津島やすらぎの里	愛媛県宇和島市津島町高田 甲830番地1	主要地方道 宿毛津島線	補助	単独	H26.4
		西予市	どんぶり館	愛媛県西予市宇和町稻生118番地	主要地方道 宇和野村線	補助	単独	H26.4
		久万高原町	てんくう 天空の郷さんさん	愛媛県上浮穴郡久万高原町入野1855-6	一般国道33号	直轄	一体	H26.4
九州	大分県	中津市	なかつ	大分県中津市大字加来814番地	一般国道10号	直轄	単独	H26.4

計16駅



# 平成26年4月 東北「道の駅」新規登録箇所



※駅名が朱書きの施設が、新規登録箇所です。

ゆがわ あいづ ばんげ かわぬま ゆがわむら  
**道の駅「あいづ 湯川・会津坂下」** (福島県河沼郡湯川村)

地域経済

観光

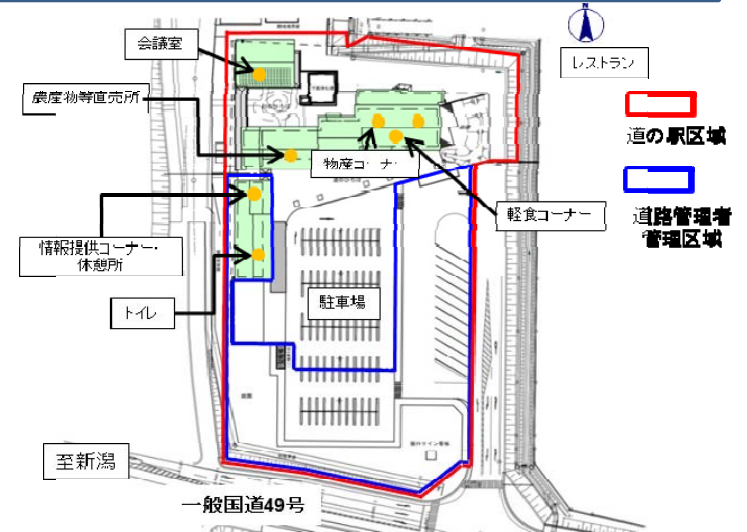
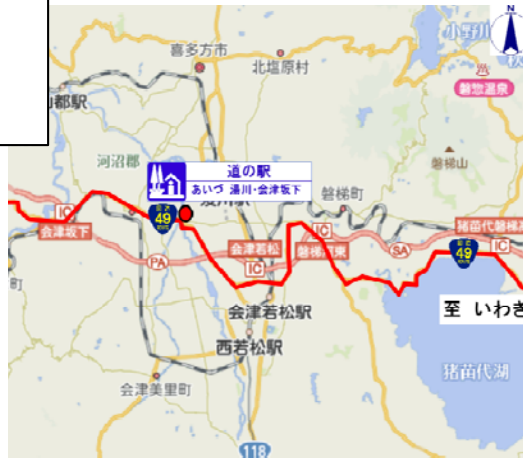
福祉

防災

文化

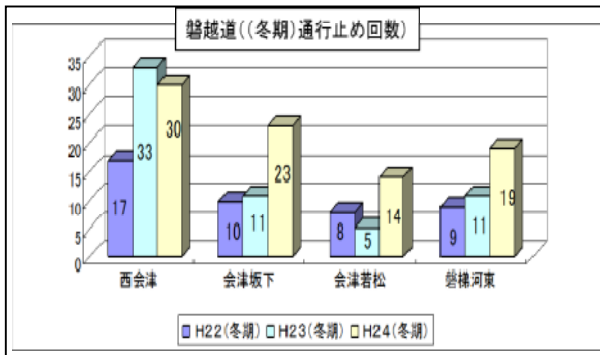
- 地元農家で52品目の農産物を確保し、更に、地元高校と連携した特産品を活かした製品開発により、6次産業化を図る
- 豪雪地域であり、磐越道、国道49号の通行止め時など、冬期交通障害の対応拠点

- 設置者：湯川村及び会津坂下町
- 路線名：国道49号(郡山国道事務所)
- 整備手法：一体型
- 全体面積：約15,196㎡



＜地域の課題＞

- 豪雪により冬期間の高速道路通行止めが発生。並行国道も大渋滞に陥る
- 人口減少、高齢化、1次産業における所得水準の低さにより離農者が増加
- 観光客30万人/年と観光資源を活かしきれない(会津地域：300万人/年)



豪雪により渋滞する並行国道

《具体的な整備メニュー・取組み》

【地域経済の活性化】

- ・地場産品を中心とした農産物販売と地元農家の手数料減免
- ・6次産業化に向け地元高校と連携。
- ・新商品開発に向け地域研修会・発表会開催と表彰制度確立。

【観光周遊の活性化】

- ・「道の駅」スタッフ25名中5名を案内ガイドとして育成
- ・地域の「語り部」26名と連携し「道の駅」を中心として町中周遊企画

【冬期の交通障害の対応拠点】

- ・高速道路、国道通行止め時の一次避難場所として活用
- ・道路情報板を設置し、一次避難の交通誘導を実施
- ・避難者対応を設置者、運営者、道路管理者とて協定締結。役割分担

おり さと おおぬま しょうわむら  
道の駅「からむし織の里しょうわ」(福島県大沼郡昭和村)

地域経済

観光

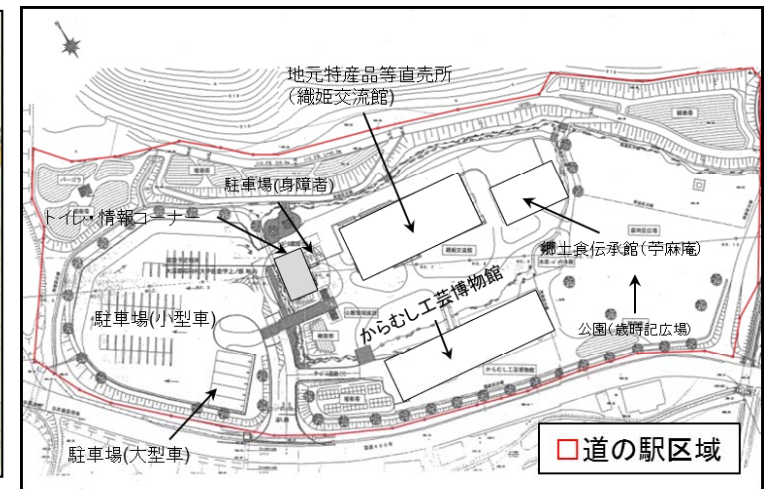
福祉

防災

文化

- 国の重要無形文化財に指定されている「越後上布」等の原材料となっている「からむし」の唯一の生産地。
- 「からむし織り」の体験、製品の普及、販売を行う拠点

- 設置者：昭和村
- 路線名：国道400号(福島県)
- 整備手法：単独型
- 全体面積：約26,987㎡



<地域の課題>

- 著しい人口減少と極端な高齢化(53.2%)。定住人口の増加が必要
- 「からむし織り」原材料の生産後継者不足(収入の確保)
- 地域内の観光資源が有効に活用されず、観光客年間9万人にとどまる。



国選定保存技術「からむし織」



「からむし織」を使って作られる越後上布

昭和村内の観光資源



国指定天然記念物「駒止湿原」



冷湖の冷泉

《具体的な整備メニュー・取組み》

【地域経済の活性化】

- ・国内唯一の「からむし」生産拠点として「道の駅」を活用した情報発信
- ・地場産品、名産品販売による交流人口増加

【交流人口・定住人口の増加】

- ・平成6年度開始「織姫体験制度」について「道の駅」で情報発信
- ・同制度の活用による交流人口、定住人口の増加

【観光振興に向け「道の駅」を地域のゲートウェイとして活用】

- ・「道の駅」に観光案内人を常駐させ、地域の観光情報を発信
- ・国指定天然記念物等の案内人を育成し、地域の隠れた名所に案内
- ・地域の隠れた伝説や名所を観光資源化するため「語り部」を育成